

全国・県学力・学習状況調査の検証

和光市立第三小学校

【全国学力学習状況テスト結果】

〈教科結果や教科に関する質問より〉

- ・国語・算数・理科共に全国の平均正答率を上回っている。
- ・国語・算数・理科共に知識・技能、思考・判断・表現の観点で平均正答率を上回っている。
⇒思考・判断・表現をさらに高めるために、自分の思いや考えを持ち、主体的に伝え合う児童の育成に努める。

〈学校生活に関する質問より〉

- ・学習に対して前向きに取り組み、相手を意識し道筋を考慮することや自分と違う意見を聞くことが楽しいと考えることができる。
- ・「自分にはよいところがある」「学校に行くのが楽しい」と自己肯定感が高く、学校生活を友達と楽しくすごそうとしている様子が見られる。
- ・本を読むことは好きでよく読んでいる児童が多く、家庭にも本が多数ある環境であることがわかった。
⇒自己肯定感を高めることが学校生活を充実させ、学力向上につながることに對して全教職員で共通理解を図る。

【県学力学習状況調査結果】

〈教科テスト結果より〉

- ・各学年共に県の平均正答率を上回っている。
- ・4年 国語・算数とも正答率の高い、低いの二極化となっている。
- ・5年 国語・算数とも正答率が高い割合が多い。
- ・6年 国語・算数とも正答率が高い割合が多いが、学習定着度が十分でない児童もいる。
⇒T・T指導や少人数指導等で指導法の工夫・改善を図り、確かな学力の定着を目指す。

〈質問紙より〉

- ・全ての学年が学校での生活は楽しかったと答え、落ち着いて学習に取り組んでいた。
- ・4・6年生は自分によいところがあると答えた児童が多い反面、5年生は自己肯定感が高くない。
⇒個々の良さを伝え広めていく。授業の振り返りの中でも、お互いの考えの良さを伝え合う場を意識的にもうける。
- ・住んでいる市の歴史・自然への関心は4年が低いが、学年が上がるごとに徐々に高くなっている。
⇒家庭・地域と連携・協働する取組の充実を今後も図っていく。

〈規律ある態度の結果より〉

- ・1. 時刻を守る、3. あいさつ、6. 生活の決まりは平均を上回っている。全学年整理整頓は市の数値は超えているが、埼玉県の数値をやや下回っている。
⇒生徒指導部と連携し学校全体で共通指導を重ねていく。学習規律は学校生活の中で重要課題と捉え、学校全体で取り組む。

以上の結果から作成した学力向上改善プランをもとに、校内の学習規律の統一を図り、知識を身に付け共に学ぶ楽しさを味わえるよう授業改善を行いながら、学校生活がさらに充実したものになるように努めていく。